

2024年5月30日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



株式会社オカムラが発行するサステナビリティ・リンク・ボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、株式会社オカムラが発行するサステナビリティ・リンク・ボンド⁽¹⁾(5年債 50億円、以下 本社債)の引受けにおいて事務主幹事及びストラクチャリング・エージェント⁽²⁾を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

株式会社オカムラは、パーパスである「人が生きる社会の実現」に向け、「豊かな発想と確かな品質で、人が生きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をミッションとして、すべての人々が笑顔で生き活きと働き暮らせる社会の実現を目指しています。Scope1+2における温室効果ガス排出量について、2030年度までに2020年度比50%削減、2050年度カーボンニュートラルを掲げています。2050年度のカーボンニュートラル実現に向けては、事業活動の各段階はもとより、サプライチェーンも視野に入れた温暖化対策を推進しています。

本社債は、ICMA サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2023、環境省グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン 2022年版に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所より適合性について評価を取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして資金用途を限定しないサステナビリティ・リンク・ボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	株式会社オカムラ第 17 回無担保社債 (社債間限定同順位特約) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
発 行 年 限	5 年
発 行 額	50 億円
利 率	0.931%
発 行 日	2024 年 6 月 5 日 (水)
償 還 日	2029 年 6 月 5 日 (火)
S P T s (3)	2026 年度に温室効果ガス排出量を 2020 年度比 30%削減 判定日:2027 年 10 月 1 日
判定後の債券特性	判定日(2027 年 10 月 1 日)時点で SPTs 未達となった場合、償還期日までに環境保全活動を目的とする公益社団法人・公益財団法人・国際機関・自治体認定 NPO 法人・地方自治体等へ社債発行額の 0.15%相当額の寄付を実施
取 得 格 付	A(株式会社日本格付研究所)
主 幹 事 証 券	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

- (1)サステナビリティ・リンク・ボンドとは、あらかじめ定められたサステナビリティ目標を達成するか否かによって条件が変化する債券のことを指す。調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定される必要はなく、発行体があらかじめ定めた重要な評価指標(KPI)とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPT)(*2)によって評価される。KPI に関して達成すべき目標数値として SPT が設定され、KPI が SPT を達成したかによって、債券の条件が変化することで、発行体に SPT 達成に向けた動機付けを与える債券
- (2)フレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、サステナビリティ・リンク・ボンド等の発行支援を行う者
- (3) Sustainability Performance Targets の略称。重要な評価指標に関して達成すべき目標として設定されるもの

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定/SPTs 達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上